
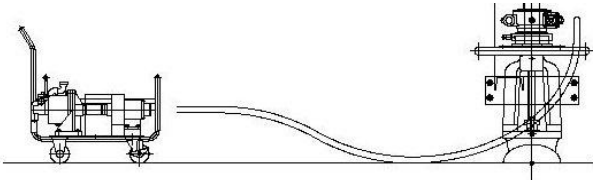



変更前の機構/構造説明	変更後の機構/構造説明
<p>低圧の手動弁(300A)が多数有り、開閉に労力と時間を要していた。 ベストールクと競合したが弁位置が近在しており駆動本体1台で9弁の操作が可能であることからUH操作方式に決定した。</p> 	<p>現場はフロア位置が異なることから駆動本体は各フロアごとの2基とし、1基/9弁ずつ操作が出来るものとした。 駆動方式は化学会社であるためエア駆動とした。</p>  

(1) 装置・機器の概要説明

- ①可搬式エア駆動本体 (UKP-2) 2台
- ②フレキシブルシャフト F-13A×3mL×2本
- ③アタッチメント AM-40×18台
- ④AMアダプター×18個
- ⑤廻り止め金物 (現地あわせ)

(2) 変更前の問題点

手動の低圧弁であるが口径が大きいため開閉に労力と時間を要していた。
省力化の検討ではベストールクとの競合であった。

(3) 変更後の利点

UHを利用することで省力化と時間短縮が計れた。
UHの利点が理解されたので同工場内の同様な施設への導入検討もされるようになった。